

柳田雑記 (12)

大坂正明氏の逮捕について



革共同中核派の大坂正明氏が逮捕された、まことに残念なことだ。

46年前の渋谷暴動で、警察官を殺害した殺人容疑である。

46年も前のことは時効である。

権力は殺人罪についてはちやつちやつと時効をはずしている。

世界のどこに48年も前の事件をとりだして逮捕する国があるだろうか。

1970年初頭全世界で反戦運動が広がった。イタリーの赤い旅団は時の首相モロを暗殺した。その実行犯を含めてはるか前に釈放され70年代の事件を追跡する国はない。

こんなことを今だにやっているのは日本だけである。

日本は先進国だそうだが、こと権力にたてつく

者に対する弾圧はおよそ先進国の名にあたいしない。

2017/5/23 柳田 健



◆1971年「11-14」沖縄返還協定批准阻止闘争——機動隊に撲殺された永田典子さん

またまた話が逸れる。先に1971年の沖縄返還協定批准阻止の闘いで「機動隊員殺害」の容疑で逮捕された〇氏(まだ容疑とされている事件の真偽が確定していないので、あえて〇氏とする)に因んで、ここでも機動隊に撲殺された若い女性教師・永田典子さんのことを思い出した。私は中核派でもなんでもないが、立場は違え当時沖縄闘争に必死で闘っていた者として一言記しておきたい。当時の政府の判断の誤りが、今の沖縄の現状に繋がっていることで、立場は違え当時必死に闘っていたことは間違いではなかったと今でも思っている。

肉体死しても 闘魂死せず

人民の怒りが さんにつぎ一人目であった。

最高潮に達した 永田典子さんの遺体は東京板橋 十一月沖繩返還 区戸田火葬場で茶鬼(だび)に付 協定批准阻止闘 争で一人の反戦 派労働者が権力 の手によって虐 殺された。

全国反戦、革 共同が記者会見

十一月二十九日夜、全国反戦(今 野世話人)、革共同の主催で行な われた記者会見では、事実経過の 報告のあと、以下の四点にわたり

永田さん虐殺に 怒りをこめて

永田典子氏の略歴

一九四四年十月二十六日、高知県 に生まれた。二七歳。高知女子大 学文学部英文学科を卒業。大阪府 吹田市立青山台中学校教諭。

就職直後から組合活動に熱心に 参加。六九年十一月闘争で逮捕さ れた反戦派労働者に対する救援活 動を通じて反戦派労働者の活動に 参加した。

途中、池袋駅で機動隊の過剰警 備による襲撃をうけ、蹴落とされた 火炎レソが爆発し、顔面、手足な ど35箇所におよぶ大やけどを負って 入院。病院での不眠不休の手厚い 看護が続けられ、やけどは快方に むかっていたが、火炎を吸い込んで いたため、二七日午前二時頃、 急に容態が悪化し、急性肺炎、心 不全を併発して同日二時三十分な くなった。

六〇年安保闘争以来、機動隊の 強手に襲れたはじめての反戦労働 者であり、女性としては櫻美智子

ばれている。

④六〇年安保闘争以来、反戦派労働者としては最初の犠牲者である ④この事態に対し、14、19でこたえたが、これで足りるとは思われない。君の遺志をうけつぎ、その怒りをさらに燃え立たせ、権力との闘いに勝利しぬいていくことであらう。

七〇年四月六月闘争以来各闘争に積極的に参加し、特に今年九月三里塚闘争に深い感銘を受け、佐藤政府への激しい怒りとともに労働者として闘う覚悟、決意を練めた。

職場でも、真面目で熱心な教育者で、生徒からも慕われていた。

十月末には友人から故櫻美智子さんの「人知れず微笑まん」を借りて読んでいた。十一月十四日の闘争に参加。池袋で機動隊に襲撃され重傷のやけどを負い、病院での懸命の手当てにもかかわらず十一月二七日午前二時三十分、つかえらぬ人となった。

△六〇年以來権力の手で虐殺された人々▽

- × 櫻美智子、和井田史郎、山崎博昭、滝沢紀昭、津本忠雄、糟谷孝幸、中村喜巳、柴野春彦
- ×
- ×